

東海経済レポート

（2021年3月）

～東海経済は回復の動きが鈍い状況が続く～

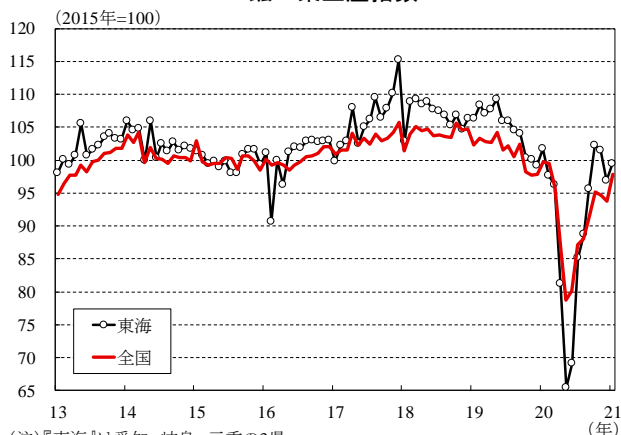
【足元の経済情勢】

- ◇ 東海経済は、基調としては持ち直しを続けていると判断されるものの、年末年始の新型コロナウイルス感染症再拡大の影響から足元でも回復の動きは足踏みしている。生産は昨秋をピークに弱含みで推移、個人消費や雇用も回復の動きが鈍い。緊急事態宣言は2月末に解除されたため景気は持ち直し基調を強めると見込まれるものの、感染症への警戒や医療逼迫への懸念は当面継続するため、回復ペースは緩やかなものとなるだろう。
- 生産は、1月の鉱工業生産指数が前月比+2.6%と3ヵ月ぶりに上昇したものの、水準は99.4と昨秋のピークを依然として下回っている。品目別では、当地域主力の輸送機械が同▲0.9%（3ヵ月連続で低下）の一方、生産用機械は同+8.8%、電気機械が同+7.5%、電子部品・デバイスが同+4.6%と、それぞれ上昇した。
- 設備投資は、昨年10-12月期の大企業の投資額が前年比+5.7%と3四半期連続で増加した。もっとも、この堅調の背景には、2019年の設備投資が2018年対比で抑制されていたことの反動増という前年要因もあるとみられる。金属工作機械の1月の国内受注額（当地域主要8社）は、自動車工業・一般機械工業からの受注がともに前年を下回ったことから、前年比▲18.5%と減少した。
- 2月の輸出額（円ベース）は前年比▲6.3%と6ヵ月ぶりに減少した。EU向け（同+0.6%）は増加したが、米国向けが同▲11.2%、中国向けが同▲3.2%と夫々減少した。但し中国向けは春節（2020年は1月、2021年は2月）の影響を受けており、1-2月累計では同+13.0%とプラス。品目別では、電機機械は小幅に増加したものの、当地域主力の自動車が同▲17.1%と2ヵ月連続で減少した。
- 1月の有効求人倍率は、東海4県で揃って上昇した。雇用市場のウェイトの大きい愛知県の水準をみると、1.03倍と全国（1.10倍）を依然下回っている。
- 個人消費関連では、1月の小売主要3業態の販売額は、スーパーが前年比+6.4%と増加した一方、百貨店は同▲31.2%、コンビニは同▲4.9%と減少した。
- 1月の住宅着工戸数は年率換算6.3万戸、前年比▲14.8%と9ヵ月連続で前年割れとなった。持家が同▲4.0%と2ヵ月ぶりに減少したほか、貸家（同▲19.6%）、分譲戸建て（同▲13.6%）、分譲マンション（同▲33.7%）では減少が続いた。
- 2月の景気ウォッチャー調査の現状判断DIは、41.6（前月比+9.8ポイント）と、4ヵ月ぶりに改善し、コロナ禍前の2019年12月（41.6）と同程度まで上昇した。

【生産①】

1月の鉱工業生産指数は前月比+2.6%と3ヵ月ぶりに上昇。水準は99.4と2019年12月(99.2)並み。

鉱工業生産指数

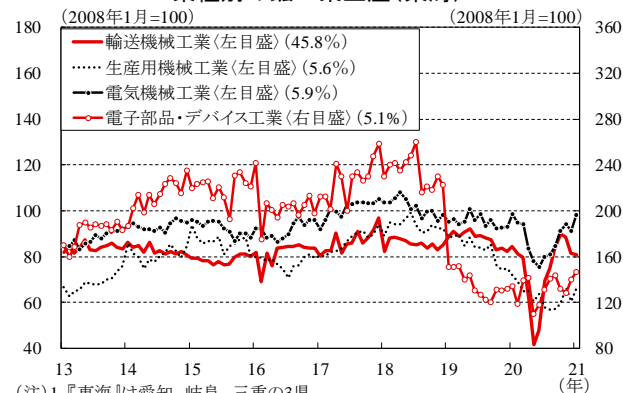


(注)『東海』は愛知、岐阜、三重の3県。
(資料)中部経済産業局統計等より三菱UFJ銀行経済調査室作成

【生産②主要品目別】

輸送用機械は前月比▲0.9%と3ヵ月連続低下の一方、その他主要品目は上昇。

業種別の鉱工業生産(東海)



(注)1.『東海』は愛知、岐阜、三重の3県。
2.()内の数値は、業種毎の付加価値額の比率(平成27年基準。中部経済産業局算出)

(資料)中部経済産業局統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

【設備投資】

10-12月期の大企業の設備投資は、前年比+5.7%と3四半期連続でプラス。

大企業の設備投資

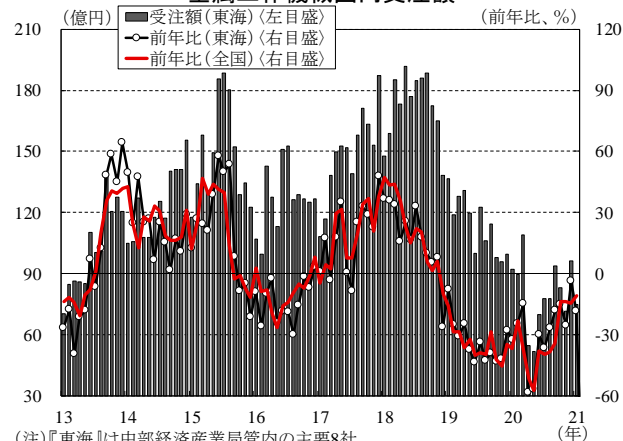


(注)1.『東海』は愛知、岐阜、静岡、三重の4県。
2.資本金10億円以上の企業を対象。
3.設備投資額はソフトウェアへの投資を除いた金額。
4.1社あたり投資額は設備投資額合計を回答法人数で除して算出
(資料)東海財務局統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

【金属工作機械受注(国内)】

1月の金属工作機械の国内受注額は前年比▲18.5%、自動車工業・一般機械工業からの受注が共に減少。

金属工作機械国内受注額

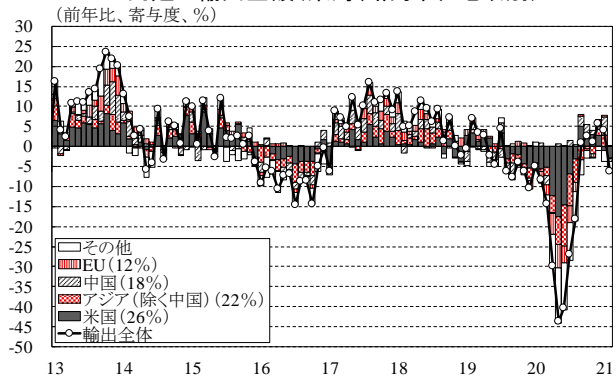


(注)『東海』は中部経済産業局管内の主要8社。
(資料)中部経済産業局統計等より三菱UFJ銀行経済調査室作成

【輸出】

2月の輸出額(円ベース)は前年比▲6.3%と6ヵ月ぶりの減少。EUを除く主要地域向けが全て減少。

円建て輸出金額(東海、相手国・地域別)



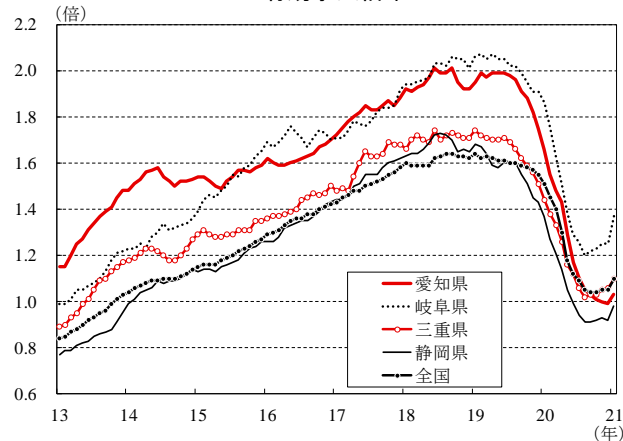
(注)1.『東海』は名古屋税関管内(愛知、岐阜、三重、静岡、長野)。
2.()内の数値は2020年輸出総額に占めるシェア。
3.EUの増減率は加盟国の増減を踏まえて算出。

(資料)名古屋税関統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

【雇用】

1月の有効求人倍率は東海4県揃って上昇。雇用市場が最大の愛知県の水準は1.03倍と全国(1.10倍)を下回る。

有効求人倍率

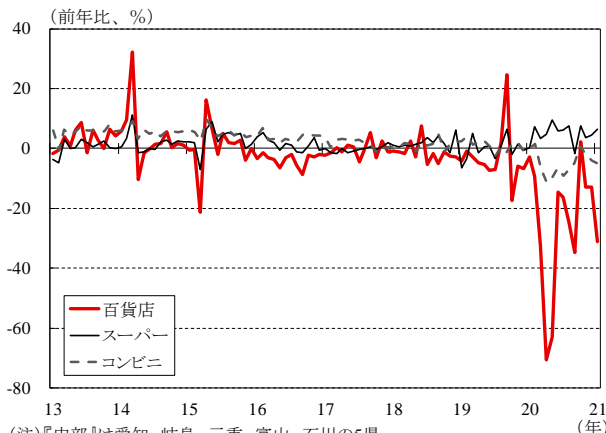


(資料)厚生労働省統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

【個人消費（小売主要3業態の販売額）】

1月の販売額は、スーパーが前年比+6.4%の一方、百貨店が同▲31.2%、コンビニが同▲4.9%と減少。

小売主要3業態の販売動向(中部)



(注)『中部』は愛知、岐阜、三重、富山、石川の5県。
(資料)中部経済産業局統計等より三菱UFJ銀行経済調査室作成

【景気ウォッチャー調査】

2月の現状判断DIは41.6(前月比+9.8ポイント)と4ヵ月ぶりに改善。

景気現状判断DI



(注)『東海』は愛知、岐阜、三重、静岡の4県。
(資料)内閣府資料より三菱UFJ銀行経済調査室作成

【原油価格（WTI）】

WTIは産油国の減産や景気回復期待が下支えも、足元では高値警戒感が強まり、60ドル前後まで調整。

原油価格

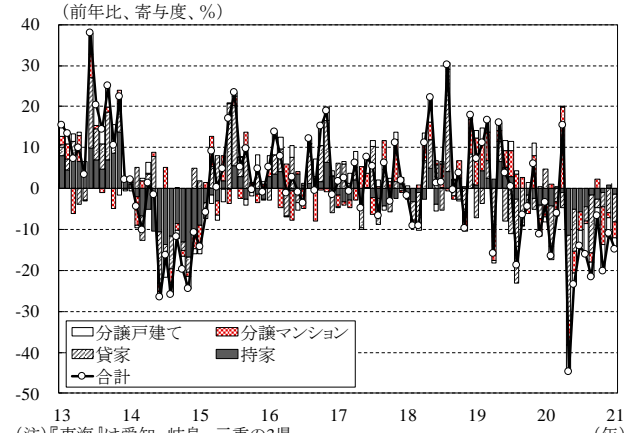


(注)『原油価格』はWTI先物。
(資料)Bloombergより三菱UFJ銀行経済調査室作成

【住宅投資】

1月の住宅着工戸数は前年比▲14.8%と9ヵ月連続で前年割れ。全用途で前年比マイナス。

新設住宅着工戸数(東海)

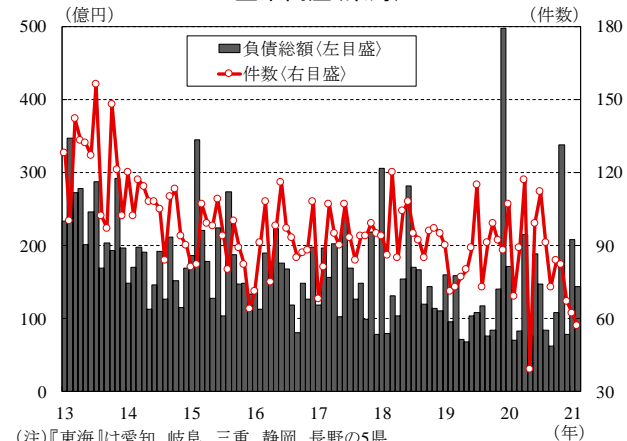


(注)『東海』は愛知、岐阜、三重の3県。
(資料)国土交通省東海より三菱UFJ銀行経済調査室作成

【倒産件数】

2月の企業倒産件数は57件(前年比▲17.4%)と減少、負債総額は143億円(同+102.4%)と増加。

企業倒産(東海)

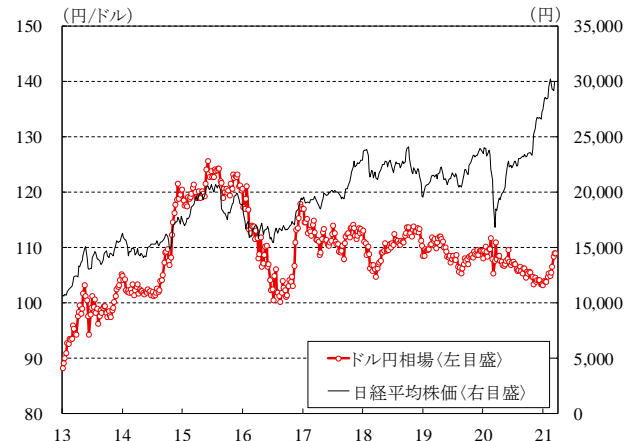


(注)『東海』は愛知、岐阜、三重、静岡、長野の5県。
(資料)東京商工リサーチ資料より三菱UFJ銀行経済調査室作成

【円相場・株価】

日経平均株価は米国金利上昇への警戒から29,000円前後まで下落。円は対ドルで109円前後に下落。

円相場・株価



(資料)Bloombergより三菱UFJ銀行経済調査室作成

照会先：三菱 UFJ 銀行 経済調査室（名古屋）

福田 洋子 youko_2_fukuda@mufg.jp

当資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、金融商品の販売や投資など何らかの行動を勧誘するものではありません。ご利用に関しては、すべてお客様御自身でご判断下さいますよう、宜しくお願ひ申し上げます。当資料は信頼できるとされる情報に基づいて作成されていますが、当室はその正確性を保証するものではありません。内容は予告なしに変更することがありますので、予めご了承下さい。また、当資料は著作物であり、著作権法により保護されています。全文または一部を転載する場合は出所を明記してください。また、当資料全文は、弊行ホームページでもご覧いただけます。